問に答ふ

■過去三年間一週に一度づゝ木炭畫を習ひしが、今は田舍に在つて野外寫生をなせど正確な研究が出來ぬ、かゝる境遇に在るものは如何にしてデッサンを正しく學び得べきや、若し石膏を求むるとせば何がよきや（越後の一女）◎木炭畫の素養が幾分でもあるなら、はやり石膏から研究してゆくがよい、東京赤坂高樹町菊地鑄太郎氏に**カタログ**を請求すれば形狀や代價はそれで分る、初めは女や小兒よりも老人がよい、羅馬希臘あたりの正しい形式のものがよい、白布其他の靜物寫生もよい、たゞ飽く迄も正確にやらねばならぬ■**二**　**チューブ**入繪具は長期保存するも變色せぎるや**四**　水彩畫は獨習書によりて學び上達し得るや、又何といふ書がよきや（SH生）◎**一**　鉛筆畫には輪廓をとるのにHB印、實線を畫くにはBB印位ひが適當なれど軟らかなら何でもよい、水彩畫の輪廓にはHBでよい**二**　製造會社による、和製品は請合へぬ、通常變色はせぬものなれど質は變つて硬くなるのがある**三**　鉛筆若くは木炭寫生から始める**四**　教師に就くことの出來る人は獨習書によらぬ方がよい、獨習書としては『最初水彩畫法』を勸める、それにしても畫いたものを誰れかに見て貰はねばいけぬ■**一**　小さき石膏類は二三倍に擴大して描きくの利害（藻峰生）◎**一**　時により擴大なることあれど、可相成は實物大、若くはそれより稍ゝ大きい位ひの處に止めた方がよい、あまり大きく畫くと部分々々に間が出來ていけぬ、また注意すべきは、近くで畫いた時と遠くで畫いた時と必ず其心持を異にしなくてはいけぬ、遠くで畫きながら、目や耳のよく見えぬ處をワザ〳〵近くへよつて見る人があるがあれはいけぬ、遠くでは遠くて見た丈けでよい

讀者の領分

■『靜物寫生の話』は我々初學者に有益なり、かくの如き講話の多く掲載せられんことを望む○本年廣島に講習會が開かれなかつたのは殘念の至り、來年は屹度開かれるやう廣島の篤志家の盡力をお願ひ申します（吳市今井哲三）■『みづゑ』口繪は製版不結果にして編者の不滿足に思はるゝものは全然廢されたい、偏に內容の健全を望む（愛讀子）■思實なる內筆水彩畫葉書交換を乞ふ（靑森縣八戸長根、須藤均）■『三脚物語』は益ゝ面白い何卒中絶なきやう願ひます（紀の國人）■B生君の御說同意君の御住所御姓名御知らせを乞ふ（兵庫縣揖保郡揖保村桑田義雄）■近頃『みづゑ』に中澤先生の御作が出るのは喜ばしい今後も時々拜見したい（一紅生）■橫濱支部の展覽會は非常な盛會であつた入場料も下足代もとらぬ、聞けば費用一切は支部の會員と大下先生との負擔であつたさうだ、それを知るとまた來年開いて下さいとお願するのは氣の毒だが、入場料を取つても每年お願いたしたいものだ（居留地の一給仕）

＊　＊　＊